

J R山陰本線（園部～綾部）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第30回）

1. 日 時

令和8年1月20日（火）15時30分から17時00分まで

2. 場 所

京丹波町役場 議会棟2階 大会議室

3. 出席者

委員21名（うち代理4名）（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

- ・議題第1号 令和7事業年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について（協議事項）
⇒事務局で指摘事項を修正し、会長確認の上、近畿運輸局に提出することについて承認
- ・議題第2号 地域公共交通計画の令和6年度事業評価について（報告事項）

6. 主な内容・意見

〈議題第1号 令和7事業年度地域公共交通確保維持事業の事業評価について（協議事項）〉

- 園福線の利用増に関して、須知高校1年生の利用者が1人から11人に増えたことが寄与していると理解しているが、施策によるものなのか、単なる生徒数の変動によるものなのか、事務局の見解はどうか。
（事務局回答）寄与は大きいと考えている。路線継続による受験生・保護者の安心感につながったのではないかと。
- 昼間時間帯の増便により、高齢者を中心に利用者及び問い合わせが増加している。
- 1から11人という増加は極めて重要であり、園福線継続が不透明だった令和6年度の状況を踏まえると、路線継続が受験生・保護者の進路選択に影響した可能性が高い。
- 令和8年度の目標値は現状では達成困難であり、計画段階の予測が現実と乖離している可能性があることから、目標設定自体の見直しが必要なのではないか。
- 資料内には「ネットワーク全体の評価」と記載があるが内容が園福線に偏っている。JR山陰本線及び三市町のバスを含む形に修正すべきではないか。
（事務局回答）意見を踏まえて修正させていただく。

◆ 第2号議案 地域公共交通計画の令和6年度事業評価について〈報告事項〉

- 三市町のバスはいずれも利用者数が減少しており、人口減少以上の落ち込みが見られる。今後は「1人が年2回公共交通を利用すると達成」など、住民にとって理解しやすく、具体的にイメージできる目標設定が必要。

◆その他

- ・事務局より、現行計画が令和8年度に満了するため、令和9～13年度の計画を更新する方針について説明。